

だいじ だいじ 自分の体!

だいじだいじ みんなの体! R6年1月22日(月)



ひまわり組の子どもたちに「プライベートゾーン」についてお話をしました。「プライベートゾーン」とは、胸・お尻・性器・口の事を指します。(子どもたちには、「自分だけの特別大事なところ」とお話をしました。)今日は、次の内容についてお話をしました。

★お風呂に入る時は水着を着ないのに、プールに入る時に水着を着るのはどうしてかな?



水着を着ないと寒いから?

裸を見られたらはずかしい。



水着で隠れるところ(胸・お尻・おまた)と口は自分だけの特別大事なところだよ!

自分だけの特別大事なところは他の人に見せたり触らせたりしないよ!



「自分だけの特別大事なところ」を見たり触ったりしていいのは、自分だけなんだよ。



だからプールの時は水着を着るんだね。

★「自分だけの特別大事なところ」を見られたり触られたりして、嫌な気持ちになったらどうすればいいかな?



- ①「嫌だ!」「やめて!」と言おう!
- ②逃げよう!
- ③大人に話そう!



自分を守るために、おうちの人や先生など、安心して話せる大人に話してね。

★「自分だけの特別大事なところ」をじろじろ見られたり、いきなり触られたりしたら、その子はどんな気持ちになるかな?



嫌な気持ちになる。

びっくりする。



自分は遊んだり、ふざけたりしているだけのつもりでも、お友達は嫌な気持ちになっているかもしれないね。



友達や他の人の体も大切にしよう!

自分の体と同じように、周りの人の体も大切にしよう!



他の人のプライベートゾーンも勝手に見たり触ったりしないようにしましょう!



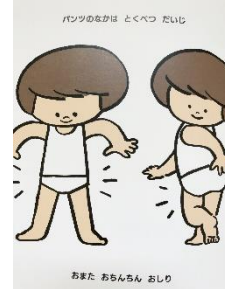


最後に振り返りとして「だいじ だいじどーこだ？」という絵本の読み聞かせを行いました。

「だいじ だいじどーこだ？」

幼い頃から自分の「からだ」を知ること、そして「プライベートゾーン」を理解し自分も他人も大切な存在だと認識することが大切です。著者の遠見才希子医師が自身のお子さんとのエピソードを交え、からだの大切さだけでなく一人ひとりが大切な存在であることを伝えるいちばん最初に読む「からだ」と「性」の絵本」と言われています。

【出版社】大泉書店【作】遠見才希子【絵】川原瑞丸



幼児期からプライベートゾーンを伝えるメリット

★性的なトラブルを予防できる

万が一、性被害にあった場合、プライベートゾーンについて正しい知識がある子は、「①嫌だと言う ②逃げる③大人に話す」事ができ、“自分の身を守る事”ができます。また、“正しい知識がないために自分が加害者になる事”を防ぐ事ができます。

★自己肯定感が高くなる

自分の体や性について肯定的に捉えられるようになり、自己肯定感を高める事につながります。自己肯定感が高まれば、どんな事にも積極的に取り組む姿勢が見られ、失敗してもあきらめない心が育ちます。また、自己肯定感が高い子は、相手を尊重する事ができます。

※自己肯定感とは：「ありのままの自分を肯定する感覚」のことです。他者と比較する事なく、自分自身が「今の自分」を認め尊重する事で生まれる感覚であり、物事を前に進めるための原動力となります。

★ゆがんだ性の知識を真に受けない

幼い頃からプライベートゾーンについて正しい知識がある子どもは、間違った情報を目にしても「これは違う。」と判断ができ、ゆがんだ性の知識を植えつけられる事を回避できます。

★思春期への心構えが出来る

幼い頃から性について話しておく事は、思春期への心構えにつながります。また、体や心の変化に直面し困った事があった時、「誰かに相談してもいいんだ」という認識を持つ事ができます。



5～6歳になるとお風呂に入った時、自分で体を洗いたいという子がいるかもしれませんね。プライベートゾーンは、自分だけの特別大事な場所です。自分で洗いたいという気持ちを大切にしたいですね。また、洗い残し等があり、保護者の方がお子さんのプライベートゾーンに触れる場合は、「洗ってもいい?」「触ってもいい?」等と声をかけるようにするといいですね。